

平成29年11月14日

宮崎市長 戸敷 正 殿

宮崎市総合計画審議会
会 長 國 武 久 登

第五次宮崎市総合計画の策定について（答申）

平成28年8月1日付け宮企政第185号で諮問のありました第五次宮崎市総合計画の策定について、別添のとおり、答申いたします。なお、答申に当たっては、下記の意見を申し添えます。

また、将来の都市像である「未来を創造する太陽都市『みやざき』」の実現に向け、地域の多様な主体と連携し、新たな価値を継続して創出していけるよう、積極的な施策の展開をお願いいたします。

記

- 1 第五次宮崎市総合計画の計画期間においては、本格的な人口減少社会に突入することから、市民や事業者の人口減少に対する認識を高めるとともに、男女共同参画社会の実現が図られるよう、具体的な取組を推進すること。
- 2 地勢をはじめ、人口規模や人口減少のスピードのほか、防災や福祉に対する取組など、地域を取り巻く環境や地域が抱える課題は、それぞれ異なるため、地域の多様性を重視し、地域の自主的な取組や地域内外の連携した取組を促進するとともに、地域と行政が協働して、住民生活に必要な公共サービスの確保を図ること。
- 3 多様な働き方を促し、ワーク・ライフ・バランスの普及を図るとともに、都市機能が集積する中心市街地の高度化を推進し、都市としての活力を向上させていくこと。
- 4 第五次総合計画における施策等の検証に当たっては、施策の実効性を高めるため、適切な成果指標の設定のほか、投入した事業費を考慮し、成果指標に係る実績を検証するなど、より実態に即した形の評価方法を検討すること。